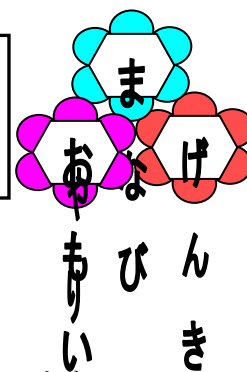




学校だより 鳴水小
平成 31 年 2 月 1 2 日
文責 校長 石 打 俊 弘

学校教育目標

「かしこく(まなびの花)心豊かな(おもいやりの花)たくましい(げんきの花)子どもの育成」



平成30年度 保護者アンケート集計結果のお知らせ

本年度7月と1月に実施しましたアンケートの集計ができましたのでお知らせいたします。
お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

※ 評価点の平均は、評価項目ごとに、A(十分満足できる)を4点、B(おおむね満足できる)を3点、C(努力を要する)を2点、D(特に努力を要する)を1点として、その平均点を示しています。満点を4、達成値を2.5としています。

(1) 教育活動について

	評価項目	評価点の平均		
		29年度	30年度	
(1) 教育活動	① 本校は、教育目標や教育方針等、保護者や地域に分かりやすく伝えている。	7月	3.4	3.4
		1月	3.4	3.3
	② 本校は、学校の情報を発信して、開かれた学校づくりに努めている。	7月	3.5	3.4
		1月	3.4	3.3
	③ 本校は、児童や地域の実態をふまえ、特色ある教育活動を展開している。	7月	3.4	3.4
		1月	3.3	3.2
	④ 本校は、健康・安全面に十分配慮して教育活動を行っている。	7月	3.5	3.4
		1月	3.4	3.3

①と②「情報公開、開かれた学校づくり」

教育活動の取組や子どもたちの様子、教育情報などを「学校通信・なるみず」や「学年・学級通信」、「ほけんだより」、「学校ホームページ」などを通して積極的に発信してきました。

③「特色ある教育活動」

本校では、昨年度より国語科、特に書くことの指導を教育研究の中心として教育活動に取り組んできました。具体的には、子どもたちの主体的に書く力を伸ばしながら、話し合いによる対話力、相互評価による自己評価力を伸ばし、書く力を付けてきました。今後も、子どもたちの思考力・表現力・判断力を伸ばしていきます。また、小規模校の特色を生かした縦割り活動を中心としたなかよしタイム、なかよし清掃、なかよしの花など、これまでの成果も大切にしています。



④「健康・安全」

朝の交通指導やスクールヘルパーなど、保護者の皆様や地域の方々のご協力を得て、子どもたちの安全がしっかりと守られていることに感謝申し上げます。校内においても、子どもたちの健康・安全に十分に配慮して教育活動に取り組んでいます。また、毎月実施している「心と体の健康相談」などを通して、子どもたちの課題の早期発見と早期対応ができるようにしています。

(2) 家庭や地域との連携について

(2) 家庭や地域との連携	評価項目	評価点の平均	
		29年度	30年度
① 本校は、子どもについての相談に応じている。	7月	3.4	3.4
	1月	3.5	3.3
② 本校は、家庭や地域の声を学校運営に生かそうと努力している。	7月	3.3	3.3
	1月	3.3	3.2
③ 本校は、教育活動に、地域の人材や地域の施設を積極的に活用している。	7月	3.5	3.5
	1月	3.4	3.4

①「子どもについての相談に応じている。」

子どもたちに対しては、毎月の月初めに「心と体のなんでも健康相談」というアンケートを全児童に実施しています。悩んでいること、困っていることを書いた子どもには、担任が面談をし、解決していくようにしています。5年生は全児童にスクールカウンセラーによる面談を実施しました。保護者の方のお子さんのことについてのご相談は、常時お受けしています。担任に相談されてもけっこうですし、直接職員室においていただいたりお電話いただいたりしてもけっこうです。スクールカウンセラーによる「子育て相談」も毎月行なっております。必要があれば関係諸機関へ連絡をつなぎ、連携して相談していくこともできます。どうぞお気軽にご相談ください。

②「家庭や地域の声を学校運営に生かす。」

学校評価アンケートや、運動会・学習発表会についてのアンケート、担任を通していただいた様々なご意見などは、学校運営や行事の実施計画の参考にさせていただいています。全てのご意見にお応えすることはできませんが、よりよい教育活動をめざして改善していきたいと考えています。なお、アンケートの結果については、学校通信やホームページなどで公開しています。

③「地域の人材や施設の積極的活用」

「びー・か・ぶー」の皆さんによる毎月の読み聞かせやお話会、社会科や生活科・総合的な学習の時間などでのゲストティーチャーのご協力など、多くの地域の皆さんの力をお借りしたり、近隣の施設を訪問・活用したりして充実した学習活動を行うことができます。また、鳴水市民センターの主催の、子どもたちのための数多くの取組を通して、鳴水地区の地域と家庭、学校のつながりの強さを感じています。そのほか、外部の方を講師としての出前授業も行なっています。

(3) 学校行事について

(3) 学校行事	評価項目	評価点の平均	
		29年度	30年度
① 本校の学校行事は、家庭や地域住民が参加しやすい行事になっている。	7月	3.5	3.4
	1月	3.4	3.5
② 本校の運動会や学習発表会は、子どもにとって楽しく充実している。	7月	3.5	3.3
	1月	3.4	3.5

運動会と学習発表会では、子どもたち一人一人の特性を踏まえて、すべての子どもたちが意欲的に取り組み、達成感を味わえるようにという考えで臨んでいます。ただ近年、子どもたちの安全への配慮から運動会における演技内容の見直し、指導時間の削減による内容の検討等の課題も出てきています。今後も、十分に検討していかなければならないと考えています。

(4) 「学び・思いやり・元気の花」について



	評価項目	評価点の平均		
		29年度	30年度	
(4) 学 び ・ 思 い や り ・ 元 気 の 花	① 自ら学び、よく考え、伸びようとする子どもに育っている。	7月	3.2	3.2
		1月	3.2	3.1
	② 本校は、子どもの基礎学力が付いている。	7月	3.1	3.1
		1月	3.2	3.0
	③ 本校は、子どもに学習規律（チャイム席、忘れ物、姿勢など）が身に付いている。	7月	3.1	3.1
		1月	3.2	3.0
	① 自分や相手を大切にする子どもに育っている。	7月	3.4	3.3
		1月	3.4	3.2
	② 子どもは、明るく楽しい学校生活を送っている。	7月	3.6	3.5
		1月	3.6	3.4
	③ 子どもは、学年や学級を超えて仲よく活動している。	7月	3.7	3.5
		1月	3.5	3.4
① 子どもに、基本的な生活習慣（進んであいさつ、言葉遣いなど）が身についている。	7月	3.1	3.1	
	1月	3.1	3.0	
② 子どもに、掃除や身の回りの整理整頓などの習慣が身に付いている。	7月	2.9	2.9	
	1月	2.9	2.7	
③ 子どもは、体育の授業や休み時間に運動し、体力や健康に気をつけている。	7月	3.4	3.3	
	1月	3.3	3.3	

本校がめざす子どもたちの姿を子どもたちにもわかりやすく表したのが、「学びの花」「思いやりの花」「元気の花」です。ここでは、それぞれの項目ごとに3つずつの評価項目を設けています。

「学びの花」

学校通信10月25日号「全国学力・学習状況調査の結果について」でもお知らせしましたが、領域によっては、まだ、基礎学力が十分に定着しているとは言えない実態も見られます。今年度「人の話をしっかり聞く」ことを全校で取り組んでいます。学校における指導方法や家庭学習の取組の改善などを通して、児童が自主的に学習に取り組む習慣を身につけさせていくことも必要だと思われま

「思いやりの花」

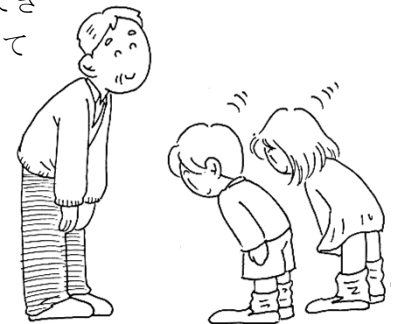
教育活動の項でも述べましたが、特別活動における縦割り活動を通して、学年を超えた結びつきが強

く、上級生が下級生をいたわろうとする良い関係ができています。また、年長者や保育園との交流を通して多くの方々とのふれあう心が育つようにしています。

「元気の花」

以前から児童会を中心に取り組んでいる「あいさつ運動」の成果が出てきています。最近では、自分から進んであいさつできる子どもが少しずつ増えてきています。「基本的な生活習慣」については、身の回りの整理整頓など、各家庭と連携して改善していく取組が必要だと思われます。

また、本年度は「廊下を静かに歩く」「もくもく掃除をがんばる」ことにも全校で取り組んでいます。



(5) 家庭教育について

	評価項目	評価点の平均		
		29年度	30年度	
(5) 家 庭	① 家庭は、早寝・早起き・朝ごはんを守る生活習慣をつけている。	7月	3.3	3.3
		1月	3.2	3.2
	② 家庭で、お子さんに進んであいさつする習慣をつけている。	7月	3.2	3.2
		1月	3.2	3.1
	③ 家庭は、学習習慣（宿題・家庭学習）をつけている。 【1・2年：30分、3・4年：45分、5・6年：60分】	7月	2.8	2.9
		1月	2.8	2.7
	④ 家庭では、話が聞ける子ども、話ができる子どもになるように気をつけている。	7月	3.1	3.1
		1月	3.1	3.1

「早寝・早起き・朝ごはん」は、安定した気持ち、すっきりとした頭で1日をスタートするための基本です。生活習慣の乱れは、学習意欲や体力・気力の低下につながります。子どもたちが健やかに成長し、意欲的に学習に取り組むためにも、基本的な生活習慣をしっかりと身につけさせていく必要があると考えています。家庭での学習習慣についての評価が、やや低い傾向があります。現在、家庭学習チャレンジハンドブックを使って家庭学習の習慣を身につけようとしています。来年度も、子どもたちが主体的に学習に取り組むための手立てをとっていく必要があります。

全体的に見ると、多くの項目で平均値が3.0を超えており（達成値2.5）、高い評価をいただいているように思いますが、一つ一つを見ていくとまだまだ、課題も見られます。お寄せいただいたご意見は、次年度の教育活動にいかしていきたいと思っております。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

なお、この結果については、学校ホームページでも公開します。

<http://www.kita9.ed.jp/narumizu-e/>

